

【感想・気付き】

まずは第26期 原田メソッド認定パートナー養成塾でのご享受、本当にありがとうございました。

私は、この『原田メソッド』との出会いに運命を感じています。

初めは、他社で受講した2h程度の原田メソッドの教育がキッカケでしたが、続けて、原田先生が直接講師をされた他社主催の教育を受講する機会があり、私が探していた教育はこれだと確信しました。

その後、社内で本講座の受講に向けたプレゼンと交渉を行い、上長並びに部門長にも受講の了解を頂き、本講座の受講に至っております。

私自身、社内の業務として技術者の人財育成を担っており、これまでも、技術面でのカリキュラムについては数々の立ち上げをおこなってきましたが、近年は得に、受講生のモチベーションの差による成果のバラツキに悩んでいました。そこから、視野を広げて人間力の育成の勉強を進めてきましたが、これまで学んできたコーチングや傾聴スキル、リーダーシップ教育もケースバイケースの学習としては役立つものの、一貫した体系をもった教育に出会う事がなく、試行錯誤をしていました。しかしこの『原田メソッド』にはそれがあります！

事前準備として、講義に向き合う『心のコップ』を上に向ける意義。

その教育は個人にとって、何を目指す為に受けているのかを問う、4観点と目的・目標設定の想起。そして、それを達成させる為の数々のツール。学びたての私にはまだまだ1つ1つを扱うには、パワーがかかりますが、長目のルーティーン行動と期日行動を洗い出す過程を取っても、これらを確実に実施していけば成功に辿り着けるという実感が持てるものとなっていました。

今回、私が原田メソッド認定パートナーを取得したら、

これまでにスキルの教育だった技術者教育にも、人間力の指導を追加し、一定レベルの技術者を認定するカリキュラムでは、個人毎に4観点と仕事の理念を講義の課題に追加し、1人1人が思いを持った技術者に育つ様に、育成していきます。また、同僚となる講師メンバーについても、1人1人と長期目的・目標設定用紙を作成して、講師陣が率先垂範で受講生に見せていける集団に育てていきます。

また社内での講義や経験を重ねてからは、1人の認定パートナーとして、社外に対しても、クライアントを創出して、指導出来る人間へ成長して行きます。そして、原田メソッドを軸として、それを補強し、原田メソッドのツールを初めての人でも作り易くなる様な仕掛けを私自身も編み出して、佐田流の人財育成体系・技術を構築する事が、私の人生の目標です。

「人財育成は、本当に楽しい」。これをずっと追い求めていきたいと思えます。